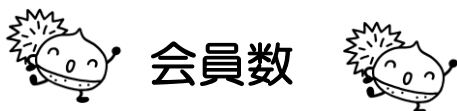


すっかり秋めいてまいりました。食欲の秋・スポーツの秋・読書の秋・芸術の秋・実りの秋ですね。会員の皆様は、どのような秋をお過ごしでしょうか。

さて、子育てファミリーサポートでの、もっとも多い活動としては、保育所・幼稚園のお迎え及び帰宅後の預かりとなっております。実際に利用して下さった方が、「安心して子どもを預けることができた」という声が、なにより、嬉しい事です。利用会員さんの「ありがとう」の声をヘルパー会員さんに伝え、これからもたくさんの方の安心していただけるつながりをコーディネートしていきたいと思っています。



会員数

会員区分	登録数	中原区	他区
利用会員	358名	338名	20名
ヘルパー会員	153名	153名	0名
両方会員	9名	9名	0名
計	520名	500名	20名

※先月9月3日に高津区役所でヘルパー研修が行われました。2名の新規ヘルパーさんが登録されました。これからのサポート活動に、ご活躍いただきたいと思います。

活動件数 ベスト5



1. 保育所・幼稚園のお迎え及び帰宅後の預かり
2. 子どもの習い事等の援助
3. 学童保育のお迎え帰宅後の預かり
4. 保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り
5. 保護者外出の場合の援助

☆ヘルパーさん募集のお知らせ☆

【子育てをサポートしてくださる方を募集します】

サポートセンターでは利用会員さんが日々増え続けています。ご近所やお知り合いの方でヘルパー会員さんや両方会員さんになっていただける方がいらっしゃいましたら研修会がありますのでお声をかけてください。

1日目：平成25年11月15日(金)

午後13時30分～17時(受付13時20分～)

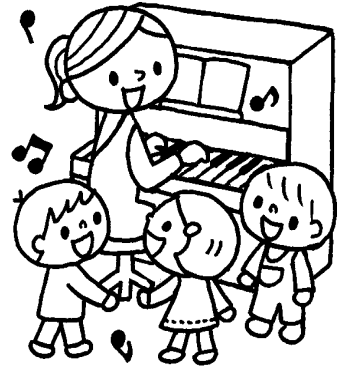
中原市民館 第4会議室

2日目：平成25年11月21日(木)

午前9時20分～16時40分

多摩区役所601会議室(受付9時～)

★詳しくはサポートセンターまでお問合せ下さい★



会費更新のお知らせ

更新月が近い利用会員さんにはハガキ・メール(メーリングリスト登録者)にてお知らせいたします。更新月の20日迄に下記の口座に年会費1200円をお振込下さい。振込人名義は《**会員番号+会員名**》でお願いします。

例：会員番号N999 中原たつくさん→《N999 ナカハラタツク》

同姓同名の会員様がいらっしゃいますので、名前の前に会員番号を入れてください。期日までに入金の確認ができない方は、退会の手続きを取らせていただきますのでご了承下さい。

尚、退会のご希望の方はセンターまでご連絡頂き、会員証をご返送くださいますようお願いいたします。

【振込先】川崎信用金庫 宮内支店 普通口座 0279642
特定非営利活動法人ワーカーズコープ代表理事 藤田 徹

お問い合わせ

サポートセンタータック 月～金 午前9時～午後5時
TEL 044-948-8915 FAX 044-740-3970
メール ktfjtack@roukyou.gr

地震対策

東日本大震災から2年半がたちました。首都直下型地震がいつ起こりうるかわからない中、私たちがとるべき行動は・・・？日ごろから備えておくものは・・・？いざという時のために今、出来ることをご紹介します。

揺れを感じたら・・・

※子どもが最優先！
すぐに子どものそばに行き、大人の体で子どもを覆うようにします。クッションや座布団などで子どもの頭を守りながら揺れが収まるまで待ちましょう。

※状況をよく見て冷静に判断！
あわてて行動せずにまずは心を落ち着けて冷静に状況を見ましょう。



※倒壊や落下物の少ない場所へ移動しましょう！
揺れが収まったら安全確保をしましょう。

- ◇屋内…ガスコンロの火を消し、ドアや窓を開けて逃げ道を確認。テレビ・ラジオで情報を集めて、次の行動に移りましょう。
- ◇屋外…公園では遊具などが無い広い場所へ移動しましょう
ブロック塀や瓦屋根の家は落下する恐れがあるので離れましょう。

小さな子どもがいる家庭での最低限の備え

- 自宅を3ヶ所に(ひと部屋安全な場所を用意)
- 子どもが自分で自分の命を守ることを学ばせる
- 避難所では、母子目線ではない前提で備えを考えておく(おむつ等、ない避難所もある為)
- 救命救急法を学ぶ
- 子どものメンタルケアについて学ぶ
- 家庭での最終避難場所を決めておく

防災は大切！なかなか進まない原因は・・・？

命を守るため大切なことであるにも関わらず、防災が自分事にならないのは？⇒

- ①日常には関係ないので備えるのが面倒だ **めんどくさいM**
- ②備えても本当に何が起こるかかわからない
使わなかったら **もったいないM**
- ③お金や負担がかかる **かかるK**

MMK

子連れ避難のポイント

- まずは深呼吸。揺れが収まった時には、すでに5分経ったと思ってすぐに次の行動にうつる
- 避難する時にベビーカーは使わない。(地面に近いと粉じんを吸い込んでしまうため)
ベビーカーには抱っこひもを備えておく
- 抱っこで避難する時も、子供に靴を履かせる
- 万が一はぐれた時のために、子どもにも、子ども用の避難バックを持たせておく
- 小さな子どもと2人で過ごす事が不安であれば、自宅が無事でも、友人や親戚宅、避難所に行く

被災時「あったら良かったと」思ったもの

●紙おむつ●ミルクセット●紙コップ●スプーン●ガーゼ●ビニール袋●バスタオル●離乳食●抱っこ紐●おもちゃ●着替え●靴●おしりふき●母子手帳や健康保険証のコピー●非常用トイレ●マスク
⇒備えたものは必ず一度は使ってみましょう。

※非常用トイレを外で使う場合、レインコートがあると目隠しになりとても便利です。

地域祭り～COCOへ行こう～

9月29日(日)にサポートセンタータック建物内にて地域祭りCOCOへ行こう!が行われました。子育てサポートセンターでは、消しゴムくじ・ひもくじ・読み聞かせなど盛りだくさんの内容で地域の子どもたちがたくさん集まってくれました。

ヨーヨーすくい・読み聞かせ
子どもたちがたくさん集ま
ってくれました🎵



ひもくじ★
『何が当たるかな?どんな
景品がゲットできるかな』



駄菓子も、もらえたね。消しゴムくじも楽しそうでした🎵

今年は十周年のイベ
ントでお餅つき体験
もありました。

